

全学連 ドイツ訪問速報 最終号

全学連国際部 松室しをり (intl-solidarity@hotmail.co.jp 050-3036-6464)

学生・労働者と結合しドイツ訪問は大成功！ この力を全学連大会-9/11-11月へ！ 訪独カンパへご協力ありがとうございました

さて、長いように思えたドイツ旅行も18日のケルンでの催し物をもってクライマックスです。19日には帰路につきます。本当に毎日が充実した日々でものすごい地平が切り開かれました！

<8月18日>

☆ケルンでの労働者集会でさらなる結合！

18日は、朝にベルリンを出発し、ケルンへ。集会までの時間に、大聖堂をはじめケルン市内の案内もしてもらいました。また、ケルンはマルクスがライン新聞を最初に発行した場所であり、その場所が金属の看板で示されています。町の真ん中にありました。



ライン川の橋の上にて。遠くに見えるのはケルン大聖堂。

全学連第72回定期全国大会

◇全原発の停止・廃炉！

◇「教育の民営化」と対決し、
学生自治会を甦らせよう！

【日時】

9月9日(金)～10日(土)

9日 午前9時半 開会

【会場】

9月9日 文京区民センター

(東京都文京区本郷4-15-14)

9月10日 浜町区民館

(東京都中央区日本橋浜町3-7-1)

フクシマの怒りとともに！ 学生こそ先頭で立ち上がろう！



8月17日、子ども達の政府交渉。政府側の出席者に質問する子ども達。(衆議院第一議員会館にて)

☆子ども達の手紙より

「大人は命よりお金が大事なのですか」

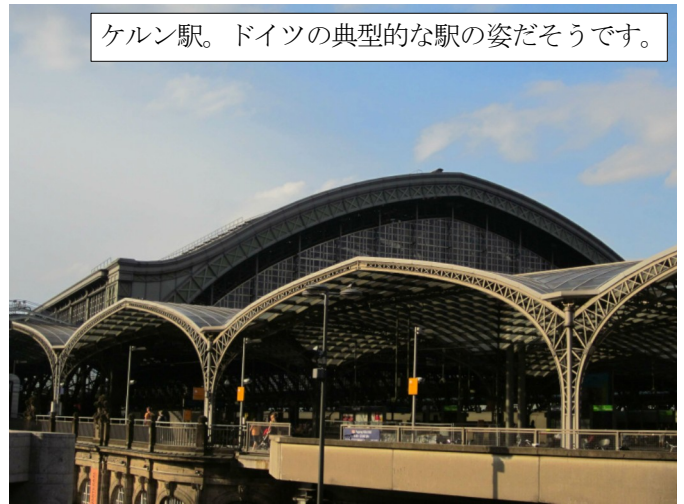
「もともとの基準を何十倍にも引き上げて、安心といわれても中学生にも信じられない。大人は責任をとってください。」

次回、対政府交渉 8月25日(木)！

9:30～14:00 参議院議員会館101会議室にて

集会には、ドイツ旅行中最大の60数人が集まりました。さまざまな政治的活動を行っている方や、鉄道を含め色々な産別の労働者が参加してくれました。

日本からの報告やDVD「フクシマと動労千葉の闘い」の上映でも、真剣に耳を傾けてくれました。その後の質疑応答では、いろいろと重要な質問が出されました。「資本主義が原発を放棄した場合、資本主義を倒さなくてもいいのか」「地震大国・津波大国に原発54基というが、原子力の平和利用に反対する勢力はいなかったのか」「一般的に日本の労働組合は原発にたいしてどのような態度をとっているのか」



ケルン駅。ドイツの典型的な駅の姿だそうです。



ケルンでの集会で全学連の報告をしてきました。

など。質問に答えていく中で、私達がこの資本主義という社会のあり方そのものを根本からひっくり返さなくてはならない、日本の労働組合が原発を容認し推進すらしてきた現実をなんとしても変えようと闘ってきたことが、本当に共感を持って受け止められています。こういった議論を通して、ベルリンに続き、ケルンでも本当に現場で闘っている労働者と結合することができました。

<8月19日>

★闘う労働者・学生と、深く、広く結合したドイツ訪問

今回のドイツ訪問では、本当にドイツの仲間にお世話になりました。ベルリンやケルンへの道のりでは、交代で何百キロも運転してくれました。彼らの献身的な働きなしには今回のドイツ旅行とその成果はなかったでしょう。深く感謝したいと思います。

また今回、これまでの交流の規模を大きく拡大し、ドイツの労働者と一気に結びつくことができました。こういった交流の拡大は、今回招待してくれたドイツの仲間達にとっても、大きな前進になったようです。

今日は、これから最後の朝食をごちそうになってフランクフルト空港まで送ってもらい、帰りの飛行機に乗り込むこととなります。ドイツの仲間達には、本当にお礼をいいたいと思います。



ケルン大聖堂にて記念撮影。